

KFCと尚絅学院大がつくる名取のメディア

八ナモモ通信

2016年3月



【発行】河北新報普及センター
 【協力】尚絅学院大 河北山脈
 【エリア】名取市内
 【部数】11,000部
 【印刷】022(2367)2491

震災から5年 閉上のいま

東日本大震災企画

学生記者が現地取材

未曾有の被害をもたらした東日本大震災の発生から11日で5年を迎えました。津波で街並みが大きく変わった閉上地区には、記憶を語り継ぐ人々がいます。八ナモモ通信の学生記者が「閉上」の声に耳を傾けました。取材、執筆が新しい一歩の契機が新しい一歩の契機となることを願って、(白鳥翼也 兼谷智恵 青田汐里)

「閉上」は、震災発生時、山形市太白区四郎丸でホームヘルパーの仕事をしていた。利用者から「子どもたちを迎えたい」と記され、3人の子どもは無事を確認することができた。「家族で楽しめるような」と整備を見せる。修学旅行などで訪れた学生たちには被災地のメッセージを伝える役目も担う考えだ。(鳥)



平日もにぎわうメイプル館



閉上の未来について言葉に熱を込める杉井さん

「新しいスタートへ向け、準備を整える。被災者を立て直せば被災者として扱われ、大きな差が生まれていく」と指摘する。多くの犠牲者

「閉上」の復興は全く進んでいないとみている。「新しいスタートへ向け、準備を整える。被災者を立て直せば被災者として扱われ、大きな差が生まれていく」と指摘する。多くの犠牲者

「閉上」の復興は全く進んでいないとみている。「新しいスタートへ向け、準備を整える。被災者を立て直せば被災者として扱われ、大きな差が生まれていく」と指摘する。多くの犠牲者

「閉上」の復興は全く進んでいないとみている。「新しいスタートへ向け、準備を整える。被災者を立て直せば被災者として扱われ、大きな差が生まれていく」と指摘する。多くの犠牲者



震災が語り継がれる舞台となる「閉上の記憶」

「閉上」の復興は全く進んでいないとみている。「新しいスタートへ向け、準備を整える。被災者を立て直せば被災者として扱われ、大きな差が生まれていく」と指摘する。多くの犠牲者

「閉上」の復興は全く進んでいないとみている。「新しいスタートへ向け、準備を整える。被災者を立て直せば被災者として扱われ、大きな差が生まれていく」と指摘する。多くの犠牲者

「閉上」の復興は全く進んでいないとみている。「新しいスタートへ向け、準備を整える。被災者を立て直せば被災者として扱われ、大きな差が生まれていく」と指摘する。多くの犠牲者

「閉上」の復興は全く進んでいないとみている。「新しいスタートへ向け、準備を整える。被災者を立て直せば被災者として扱われ、大きな差が生まれていく」と指摘する。多くの犠牲者

「閉上」の復興は全く進んでいないとみている。「新しいスタートへ向け、準備を整える。被災者を立て直せば被災者として扱われ、大きな差が生まれていく」と指摘する。多くの犠牲者

「閉上」の復興は全く進んでいないとみている。「新しいスタートへ向け、準備を整える。被災者を立て直せば被災者として扱われ、大きな差が生まれていく」と指摘する。多くの犠牲者

「閉上」の復興は全く進んでいないとみている。「新しいスタートへ向け、準備を整える。被災者を立て直せば被災者として扱われ、大きな差が生まれていく」と指摘する。多くの犠牲者

「閉上」の復興は全く進んでいないとみている。「新しいスタートへ向け、準備を整える。被災者を立て直せば被災者として扱われ、大きな差が生まれていく」と指摘する。多くの犠牲者

「閉上」の復興は全く進んでいないとみている。「新しいスタートへ向け、準備を整える。被災者を立て直せば被災者として扱われ、大きな差が生まれていく」と指摘する。多くの犠牲者

「閉上」の復興は全く進んでいないとみている。「新しいスタートへ向け、準備を整える。被災者を立て直せば被災者として扱われ、大きな差が生まれていく」と指摘する。多くの犠牲者

「閉上」の復興は全く進んでいないとみている。「新しいスタートへ向け、準備を整える。被災者を立て直せば被災者として扱われ、大きな差が生まれていく」と指摘する。多くの犠牲者

「閉上」の復興は全く進んでいないとみている。「新しいスタートへ向け、準備を整える。被災者を立て直せば被災者として扱われ、大きな差が生まれていく」と指摘する。多くの犠牲者

「閉上」の復興は全く進んでいないとみている。「新しいスタートへ向け、準備を整える。被災者を立て直せば被災者として扱われ、大きな差が生まれていく」と指摘する。多くの犠牲者



河北新報 千葉淳

「閉上」の復興は全く進んでいないとみている。「新しいスタートへ向け、準備を整える。被災者を立て直せば被災者として扱われ、大きな差が生まれていく」と指摘する。多くの犠牲者

学生が復興支援

栗原の魅力を感じ

河北新報社復興支援事務局「今できること」プロジェクト×栗原市のツアーが2月21日、栗原市で開催されました。岩手、宮城、内陸地帯(2008年)、東日本大震災(11年)からの復興を進める同市の四季折々の魅力を感じてもらいたいと、本年度一回のツアーを企画し、今回は最終。



一緒に二重作り指導者と

県内から65人が参加。地域色豊かな生活に触れることを目的とし、体験活動では三層や干し大根、よしずを作りました。 Lennon 通りや田くりはら田園鉄道(養老)りてん2の07年廃絶、釜脚駅の廃止もあり、地域の魅力を満喫しました。



干し大根の作り方を習う参加者

陸奥(ゆりが丘4日)も協力。地元産の素材を生かした食事を味わうランチでは、大学の料理研究員から「フードフォーミー・ナリユ(FFM)」の学生が、金成のリンゴを使用したお菓子づくりを体験。田沼さんは「参加者が笑顔で一日楽しんでくれてよかった。復興の手助けになれたらうれしい」と感想を述べました。

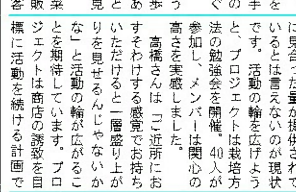
3年加藤倫菜さんは「素材の味や食感、香りを楽しんでもらうために考えたレシピですが、豊富な資料から考えるのが楽しかった」と笑顔を見せました。(阿部吉幸)

新鮮野菜いかがですか

那智が丘住民が野菜販売

那智が丘の「野菜市」に野菜直送の小松菜、白菜、タマネギ、ニンジン、アスパラ、とうもろこし、新鮮野菜が並びます。那智が丘2丁目の中高(野菜市)で毎月第1、3、5曜日の午後2時4時、野菜市が開かれます。「買い物客が多い」という声を反映し、住民主催の「野菜市プロジェクト」が昨年1月から実施しています。プロジェクトは高橋さん

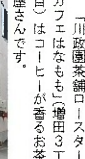
が求めやすい値段に設定し、売り上げは生産者に渡しています。野菜を提供しているのは現在6、7軒ほど、ニースに見合った量が提供されているとは言いにくいのが現状です。活動の輪を広げようと、プロジェクトは栽培方法の勉強会を開催。40人が参加し、メンバーは関心の高さを実感しました。高橋さんは「近所におすそ分けする感覚をお持ちいただけるとうれしい」と喜びを語ります。メンバーは「活動の輪が広がるとを期待しています。プロジェクトは商店の運営を目標に活動を続ける計画で



新鮮な野菜がそろっています

コーヒー香るお茶屋さん

ロースターカフェはなもも



「川路園茶舗ロースターカフェ」はなもも(増田)1丁目10番1号にオープンしました。ロースターが香るお茶を販売しています。

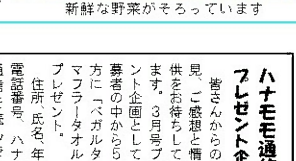
店頭には日本茶、紅茶、急須などに加え、13種類の自家焙煎(はいせん)コーヒー豆が並んでいます。チェーン店の増加もあり、「カフェ」の文化が盛り上がり、香りが特徴として選ばれる機会が増えています。川路さんは「お茶の味や香りを体験していただきたい」と、接客の丁寧さにこだわっています。川路さんは「お茶の味や香りを体験していただきたい」と、接客の丁寧さにこだわっています。

川路さんは「お茶の味や香りを体験していただきたい」と、接客の丁寧さにこだわっています。川路さんは「お茶の味や香りを体験していただきたい」と、接客の丁寧さにこだわっています。

地域研究

成果報告会

尚絅学院大発表による地域研究成果報告会が3月26日午後2時から4時、名取市増田1丁目同大生涯学習支援センターで開催されました。「マスコットキャラクター」「カーナク心」を活用した地域復興の研究と実践」「東日本大震災後の生活復興の研究」「特産セリ」の利用拡大に向けた基礎的研究」セリの研究性を生かした調理・加工及び保存法に関する検討」の3つのテーマについて発表されました。



参加無料、予約不要、駐車場がないため、公共交通機関をご利用ください。連絡先は大学教職研究支援課 022-381-2601

ハナモモ通信

「ハナモモ通信」をリニューアル。皆さんからの意見・感想と情報提供を待っており、3月号プロジェクト企画として、応募者の中から名の方に「ハナモモ通信」をプレゼント。住所・氏名・年齢・電話番号、ハナモモ通信を購読ご感想、要望などを記入してメールかファクスまたは郵送でR.F.O.ハナモモ通信プロジェクトへ(住所)〒980-0002 仙台市青葉区五橋1-10-100000



ハナモモ通信 フェイスブックQRコード